わたしはナーム！
アルベリア王国に
住む妖精だよ！

これから起こるいろんなことや
仲間になるみんなのお話を
紹介していくね！

ナーム

ある日…
王国の守りである
『聖片』の力が弱まって
いることがわかったの

アルベリア国王
アローラス

新たな聖片を
得なければならないが
聖片に触れられるのは
竜と契約を果たした者のみ

必ずや契約を果たし
兄王子たちと同じく
竜の力を得て
聖片を持ち帰ります！

頼んだぞ

第七位王子
ユーディル

そうして王さまは封印遺跡へ
ユーディルは霧の森へ
向かうことになったの

ゼシア

ゼシアはユーディルの妹で
一番の友達だよ！
イリア教の巫女でもあるの

私だって
兄さまの
力になれます！

うん！
そうだね

心配になって
わたしたちはユーディルを
追いかけることに！

ユーディルに追いついたと思ったら
謎の仮面の女の子に攻撃されたんだけど

おまえは
一体…!?

あなたたちに
だけは見られたく
なかった……

素顔がゼシアに
そっくりー！どうして!?

ゼシアのそっくりさんを退ける最中
なんとかドラゴンと契約できたと思ったのに
そうじゃなかったみたい

真の契約を
結びたくば
我の住む『霧の森』へ
来るがいい！

聞いてないよ！
なにそれ～！

ズゥ…

霧の森を探していると
怪しい奴に追いかけられてる
女の子が！放っておけないよ！

チッ
邪魔が
入ったか…

助けていただいた
恩を返すため
護衛をさせてください！

名前はエルフィリス
イリア教の聖騎士
なんだって！すごーい！

エルフィリス

それから霧の森を
知ってるっていう傭兵の
ランザーヴに会って…

ランザーヴ

お前がどんな
王さまになるか
見たくなっちまった

バカにして悪かった

一度戦うことにはなっちゃったけど
おかげでわたしたちが
本気だってわかってくれたんだ！

ようやくドラゴンの
元へたどり着いて

真の契約のため
みんなで一緒に戦うことに！

そして…

王を慕う臣下の力も
また王の力…

我が名は
碧竜ミドガルズオルム！
暴風の主にして
この地を統べる者！
今より汝を守る
嵐となろう！

わあっ

ミドガルズオルム

聖片の場所へは
霧の森の守人クラウが
案内してくれることになったの

…永い時間新たな主を…
あなたを待っていました

おれを…？

クラウ

ユーディルが一歩踏み出すと
深い霧がはれ光が差し込んで…

パァ

絵本で昔読んだ
みたいな風景と
探していた聖片が！

そこに突然現れたのは
封印遺跡に向かったはずの王さま！
なんだか様子がおかしいよ…

巫女よ
皆の命を助けたくば
『聖片』と共に我と来い

ゼシア…
逃げるんだ…！

ズズ

絶体絶命…もうダメかもってその時

女神イリア！
ご加護を！

ゼシアがそう叫んだら
ユーディルが知らない
ドラゴンになっちゃった！

だけど結局歯が立たなくて…

みなさん
どうかご無事で…

聖片とゼシアは
王さまの姿をした何かに
さらわれてしまったの…

わたしたちは霧の中から現れた聖城…
建国王アルベリウスの城を拠点にすることに！

傷は癒えた…
王都へ戻って
父上そうくりの
あの男の正体を
確かめないと…

そしてゼシアと
聖片をとり戻す！

うん…
待ってゼシア！

みんなと湖畔沿いに王都へ
進んでいたら見たことのない旗を
持った兵士が向かって来たの

ユーディルの迎え…
ではなさそうだな

ヤァ！

あの国旗…
はるか昔に滅びた
悪の帝国…
ディアネル帝国の…!?

そこに近衛騎士団団長の
リーフが！ユーディルを
探していたみたいだけど…

王は変わられて
しまった…

くっ…

アルベリア王国
は滅び…
ディアネル帝国と
なったのです

リーフ

ええ～!?
どういうこと～!?

今度は
王都守備隊の隊長
ハールが現れて

これはこれは

大罪人『叛逆の王子』
ユーディル殿下！

ドン！

ハール

わたしたちが王都に魔獣をけしかけたり
ゼシアを誘拐したって言いだしたの!!

これは父上の…
皇帝の命令だ！
裏切りものを
捕縛せよ！

そいつは
父上じゃない！
目をさませ
エミュール！

第六位王子
エミュール

必死に違うって言ったけど
全然聞いてくれない！
仕方なく逃げることに…

帝国軍から逃げていたわたしたちは
南フォレスティア族のリュカに出会ったの

王国とオレたちの
集落は不干渉だった

なのに帝国になった
途端従うよう脅して
きやがったんだ！

襲ってきたエミュールの
契約竜にひとりで挑んで
大ケガしちゃったみたい

リュカ

たどり着いた集落で
帝国兵に捕まっていた
リュカの妹を救出！

シーリス！
大丈夫…
ぐほぁ!?

こんの
バカ兄がぁ！
心配した
んだから！

レフ

ドゴォ

他のみんなも隠れ家に
避難して無事だって！
よかった～！

シーリス

さっそく集落のフォレスティアと
協力して帝国軍の撃退作戦を開始！

あの動き…
お気を付けを

従者のくせに
オレに口を出すとは
いい度胸だ！

王子がすごーく
ヤな感じ…

どうして契約
したんだろう？

チッ

青竜が守りたかったのは
美しき水の土地――

契約はその宝を守る
誓いをたてたから…

そんな土地のこと
なんかどうでもいい！
くだらん！

立てよ！
立てったら！

だけど契約のための
ウソだったって言うの！
ひどすぎるよ…

ガッ

ガッ

…!?

エミュールとの
契約を破棄したドラゴンは…

あなたこそが
真の竜の血を継ぐ者…！

我が名は
マーキュリー

潮流の主にして
波濤を統べし者
今より貴方の母なる
海となりましょう！

宝を守ることを約束に
ユーディルと契約を果たしたの！

マーキュリー

ぱぁ

あぁっ

マーキュリーと契約したその時！

地震…いや
アドラ火山が
噴火した!?

ドドド

ゼシアたちが去ってしまったあと
傷ついた緋竜を助けようとしたんだけど

アタシを助ける？

…そんなの信じられないわ

ひどく悲しそうにそう言って
洞窟の奥へ飛び去ってしまったの…

なんとか追いかけて
洞窟で魔獣に襲われていた
緋竜を助けて…

火口で乱れた
マナを正すわ

おれも竜化して
あなたを手伝う！

ゴゴゴ

!?

他のドラゴンに
触らせるくらいなら
契約してあげるわ！

荒れ狂うマナを凝縮させて
契約石にすれば噴火を抑えられる
かもしれないってことがわかったの！

この先も共に
歩んでいくために
契約してくれないか

ぐっ!

ふふっ
変わった王子さまね！

我が名はブリュンヒルデ！

紅蓮の主にして
豪火を纏う者！
今より貴方を導く
灯火となりましょう！

ブリュンヒルデ

契約が果たされたことで火山は
落ち着きを取り戻すことに成功！

一件落着…と思ったら
ブリュンヒルデが女の子の姿に!?

ムムって呼んで！

末永～く
よろしくね
マイダーリン！

ムムっ

なんだかすごい
気に入られちゃったみたい！

新しいドラゴンを探すため
わたしたちはふたたび旅へ！

皇帝の力は危険です
あの力はまるで…

いくつか仮説は
立てられるけど
やることは一つ！
四体目のドラゴンと
契約しなさい！

ドーン!!

ゴクリ

ムムのアドバイスで輝竜の住む
ドルニトス山脈へ向かうことに

そしたらエミュールも輝竜を
狙ってたみたいでバッタリ遭遇！

わーっ
雷で魔獣の檻が～!?

助けよう！

しょうがねえな！

も～！みんな
優しいんだから！

結局エミュールはひとりで
おいかけてきたの…そこに！

ひねくれものに
しては素直に
出てきたじゃない

ナデナデ

久しぶりだね緋竜
そして竜の血を
引く王子たち！

輝竜はひねくれもの!?
なんだかヤな予感がする！

そして契約を求める王子ふたりの
力を確かめるための戦闘へ

やれー！
かかれー！

…勝った…？
勝ったぞおお!!

はぁ

手を汚さずに
勝つのも
知恵…かも
しれないね

全然納得はいかないけど
ふたりとも勝者ってことに！

どっちと契約するの？
って聞いたら

ああ…優しい僕にはひとりを
選ぶなんてできないよ

そうだ！
殺し合いなよ
ふたりで

そんな…一体何考えてるのー!?

ユーディルは襲い掛かってきた
エミュールの剣を弾いて落とし…

どうして
オレだけが
こんなみじめな
思いを…！

うう…

輝竜よ聞いてくれ
あなたの望みには
応えられない！

ゲッ

武器を失くした者は
討たないって伝えたの！

道を誤ったドラゴンを導くのも
王家の責任ーユーディルがそう言うと

あはは!!
流石は
建国王の子孫だ
器を
見極めさせて
もらったのさ！

じゃあ
あなたは
最初から…！

ええ～！
これも試練だったの!?

我が名は
輝竜ユピテル！
雷雲の主にして
この山脈を統べる者！
今より汝の放つ
雷光となろう！

ドドドドド

ユピテル

これからよろしくね
ユーディル！

ギュラオオオオ

エミュールは覚えてろー！
って言いながら行っちゃった！

誰よりも苦しみを知る
エミュールの再起を信じたい
そんな話をしていたら

ああ…
もう四体もの
竜と契約を…

僕の
テリトリーに
気付かれず
に…!?

またしてもゼシアの
そっくりさんが！

私はあなた方の
敵ではありません

目的は運命を
変えること

封印遺跡へ
行きましょう

アローラス王とゼシア…
私が知る通りなら
ふたりは今そこに…！

罠かもしれない…

だけどゼシアを助けられる
可能性にかけて行くことにしたの

封印遺跡へ向かう途中　帝国に追われて逃げている人たちを聖城に誘導したの

家も畑も焼かれて…

ゼシアだけじゃなく民のためにもこの状況をどうにかしないと！

ユーディルにはドラゴンとわたしたちがいる！きっと乗り越えられるよ！

そうそうユーディルが契約したドラゴンたちは伝説の六竜のうちの四体なんだよ

六竜のうちブルートーは死んじゃったって言われているみたいだけど…

最後の闇竜はどこにいるんだろう？

封印遺跡は大陸にいくつかあって全部に邪悪な力が眠っているんだって

なんだかすごくビリビリするあの王さまと同じ感じ！

…この感触遠い昔どこかで味わった気がするのよね

遺跡の中はマナが淀んでいてすごく気持ち悪いの！

皇帝が現れたのは王さまがこの遺跡に向かった後…

奴は「かの地で目覚めひとつ取り戻した」と言っていた

言葉通りならここはすでに用済みなのになぜ…

王家が内緒で守っていたなんて一体何が隠されているのかな？

残された時間はそう多くありません　私についてきて

ああ！

そうだね…とにかくゼシアを見つけなくっちゃ！

遺跡内の魔獣ふつうじゃないよ～！
倒したのにまだ動くんだもん！

思い出したわ！

このイヤ～な空気を
出してるのは
『この世ならざる者』

ダーリンの
ご先祖様が
封じたはずの
禁忌の存在よ！

グルル

ルルル

えーっ王さまがおかしく
なったのはそいつのせい…!?

ようやくふたりを発見！
そしたら会話が聞こえてきて

我のひとつが
眠っていた
降霊の天壇で
儀式を…

フフフ…

そして聖片に
封じ込められた澱で
無窮の河を作らねば

なんのことかはわからないけど
すっごくイヤな予感…！

これ以上は進ませられないって
この世ならざる者を追いつめたの！

巫女ゼシアよ！
あなたは今
「この者を浄化せねば」と
考えているはずです

え…？どうして
私の考えを？

ひとりでかなう
相手ではない…
だけどあなたとまったく
同じ力を持つ**私**が…

ばっ

ふたりの私が
力を合わせれば
この者を霧散
させられる
かもしれません！

そっくりさんも…ゼシア!?
これってどういうこと～!?

突然すぎてびっくり…
だけど信じて賭けるしかないよ！

イリアよこ加護を！
聖竜の名の下に
ただ一度だけ
大いなる奇蹟を！

ぱあ

去れ
この世ならざるものよ!!

ふたりの巫女の力は圧倒的！
これなら王さまを助けられるよ！

あなたが元いた
不浄の世界へ
還るのです！

ぱあぁ

ウオオ…ッ

こんな小娘どもに…

ククク…

そう思ったのに
なんだか様子が変なの…

我が力
いまだ尽きず…

顕現せよ
闇竜ゾディアーク！

ゴオオオオオオ

なんと王さまの契約竜は闇竜！
しかも一緒に操られていたの！

攻撃を受けた
ゼシアはそのまま
連れていかれちゃって…

降霊の天壇にて待つ
なにが起こるか
見届けに来るがよい

ズズズ

ゼシア！

ズ

弱気はダメ…落ち着いて
追いかけなくちゃ…！

どうにか追いついて…
ゼシアを取り返せたの！

どくのだ
王子よ！

その者から
離れよ！
一刻も早く！

さもないと…！

だけどさっきまでと
雰囲気が違うような…

―後ろから殺されて
しまいますよ？

フフ…？

そう…儀式はもう終わっていて…
王さまの代わりにゼシアが
この世ならざる者になっていたの…

王さまはこの世ならざる者になってしまった
ゼシアから命がけでユーディルを守って…

父上…！

よい
ユーディル…

闇竜よ 我が魂を
マナとして継いでくれ…

ロ…

闇竜とひとつになって
ゼシアを追いかけて行ってしまったの

絶対に来るなって言われたけど
放っておけるわけない…！

この世ならざる者に
やられたのか
なんてむごい…！

ヨロ…

かくなる上は
私と戦え
ユーディル

お前と
契約すれば
私は永らえる…

追いかけた先で
ボロボロになっちゃった闇竜を
助けるため契約することに！

我が名はゾディアーク

暗黒の化身
宵闇に跳る者にして！
汝が父の魂と融合せし者！

ゴゴゴ

アマ

今より汝の影たる
守り手となろう！

ゾディアーク

こうして伝説の六竜の生き残りみんなが
ユーディルと一緒になったの！

この力があればゼシアを
取り返せるかもって思ったけど…

あれは…！
古の魔獣よ！

ゴルウ山！

遺跡の封印を解き放ち
新たに生まれたのだ

やがて魔獣の大奔流が
大陸を貫く！
これぞ**無窮の河**よ！

これから封印遺跡を全部解き放って
大地を魔獣だらけにするって言うの！

阻もうとする
英雄の萌芽を断つ…
ディアネルは
河の守り手よ

**今こそ歪んだ
世界を正すのだ！**

罪のないみんなを苦しめる
世界が正しいわけないのに…！

ゼシアのからだを乗っ取った
この世ならざる者は
自分がディアネル帝国の
新皇帝になったことを宣言したの

この大陸は
冥獄の巫女ゼシアが制覇する！

逆らう都市は陥とせ！
集落は焼き払え！

ズゥン

皇帝ゼシア

ゼシアが乗っ取られたあの時
わたしたちはもう一人のゼシアの
最後の力で遺跡の外へ逃がされたの

私の命を
救おうとしないで

『暁の聖片』を
その手で探して

彼女はそう言って
今度こそ消えちゃった…

がっくりしたまま聖城に戻って
帝国に苦しめられている人たちを
助けていたら帝国軍が攻めてきたの！

巨大な
熊の紋章が
描かれた
あの旗印は…

ざわっ

まさか…
ヴァルクス兄さんの
部隊か!?

城には碧竜の守りが
あるはずなのに…！

ヴァルクスってお兄さんは悪の帝国に
なびくような人じゃないらしいけど…

乱暴者のせいで
森の魔獣も
活気づいています

あぁ…

魔獣と
帝国軍を
鎮圧しないと！

そうだね！まずは
お話できる状況を作らなきゃ！

やっと出会えて
「何も企てていないから
退いてくれ」ってお願いしたら

今は弱者の群れでも
この先はどうなる？

将来も見通せぬ
危険な芽…

そんなものを
我ら帝国は
見逃さん

第4位王子
ヴァルクス

「どんな集団になる気だ」って
聞かれて…答えられなかったの

問答のあとヴァルクスは
一旦退いてくれて

おれたちは
なにを
なす者か…

確かに
おれたちには
目的がない

ゼシア奪還が
遠のいた今
何を目指せば…

悩みながらも民のみんなを
助けるために魔獣退治を続けたの

退治を終えて
お城に戻ると…

ユーディル様の
おかげで平和に
暮らせるわ

ユーディル様こそ
俺たちの王だ！

ワッ

王だなんて…
おれはただみんなを…

！そうか

みんなが安心して
暮らせる場所を…

『国』をつくるのは
どうだろう？

幸せを望む者
誰もが安心して
暮らせる国を！

〃おお！〃

みんなが教えてくれた道を
答えとして伝えに行くことに！

そして…

ひとつの領土に
国が並び立てば
それはもう戦争

覚悟の上だろうな

ばっ

迷いはない！

そして国を統べるためには
兄さんに認められる
人間でなければ…！

そう…ユーディルは昔 ヴァルクスから
王さまの『三つの資格』の話を聞いていたの

ほう

敵将である私に
資格を問うか…

よかろうならば
命がけで示すがいい！

正々堂々認められるため
試練に挑戦することに！

王たる三つの資格…
ひとつめは正統な王家の血を引く者
つまり「竜の血」を使いこなすこと

その二は「ふさわしき武勇」を
持っていること

ユーディルは順調に
力を示していったの

そして…
第三の資格は
絶対の危機に陥った
時にこそわかる

我が契約竜を見よ！
来臨せよッ
トール!!

トール

突然ヴァルクスが
竜化して向かって来たの！

竜化しただけでとんでもない威力！
しかも周りには帝国兵がたくさん…
諦めかけたそのとき！

俺たちの
ユーディル様に

手を
触れるなーッ！

オオオッ

ガッ!!

みんな…！

ユーディルが助けたみんなが
今度は助けにきてくれたの！

そう！最後の資格は「人徳」！

見事だ我が弟
そして敵国の
若き王よ

ガマ…

バイバイ

ヴァルクス兄さん…

ヴァルクスに認められた
ユーディルは晴れて…

建国王アルベリウスは言った
『国あっての人ではない
人あっての国だ』と！

ここに
『新アルベリア王国』の
建国を宣言する！

オオオオオ!!

王さまになったの！

新アルベリア王国の誕生は
皇帝ゼシアにも知られたはず

でもすぐに
攻めこまれて…って
ことはなかったの

帝国にはエミュール達のほかにも
お兄さんやお姉さんがいるけど…

みんな王国のこと
どう思ってるんだろう？
気になるけどとりあえずは…

水上都市
セントロータス…

"くっ！

善政を敷く
領主のいるあの都市と
同盟を結ばなければ！

うんうん！

早速セントロータスへ
向かったんだけど

いやちょいとな…
ここで若気の至りで
大暴れしたとでも
思ってくれ

じ…っ

ははははっ！

絶対
なにかある！

久しぶりだな
ランザーヴ
…我が息子よ

ズーン…

なんと！
領主の跡継ぎ息子って
ことを隠してたの!!

領主
ザカリアス

王さま初心者と政治がイヤで逃げ出した息子…
同盟相手として信用できないって言われちゃった

なら一から
信頼を
積み重ねる…！

どコか
役立たせてほしい！

ニムッ…？

ほう…

それで近くの魔獣の巣
退治を引き受けることに！

すっきりキレイに
退治したはずが…

あら
まだ魔獣が？
取り逃がしたか
しら

まさか
この近くにある
封印された古戦場…
ダビア湿地帯から？

ギャアギャア

ギャ

うーん危なそうだけど怪しい！

念のため近くの人たちの避難を
お父さんにお願いしてから
湿地帯へ向かったんだけど…

実はさっき…
「俺が戻るなら
同盟を結んでも
いい」って親父が
ここは
引き返した方が…

！

…いずれにしろ
魔獣は倒さないと
民が苦しむ
行こう！

お父さんの言葉は
気になるけどそれはそれ！

ったく
お前ってヤツは…

キィィィ

!?

何だ今の音は…!?

音の原因を探して
湿地帯を進んでいくと
魔獣が出てきてそして…

げげげっ
お前らは!?

ギッ!!

エミュール!?

えーっこんなところで何してるの!?

エミュールってば騒いでばっかりで
何をしていたか言おうとしないの！

てめえのような
悪党はズバッと
やろうかと思ったが…

戦意を失くした
ヤツは討たねえって
ユーディルのやり方が
染みついちまったな

衛兵に引き渡す！
冷たい牢獄の中で
一生過ごしやがれ！

ぐいっ

いやぁぁぁぁっ

そのまま街まで
連れて行こうとしたら

エミュールを放して
あげてくれませんか

ファルエス
兄さん!?

#!!?!?

また別のお兄さん…！
敵？味方？どっちだろう…

穏やかで研究好きな
人らしいんだけど

フフフ…
この地では
面白い検証が
できました

てめえが今回の
騒ぎの黒幕か？
ぬけぬけと…！

怒ったランザーヴが
攻撃したんだけど…
生身に弾かれちゃった！

私の体は
やっかいな呪いに
むしばまれて
いましてね

まさか…
竜鱗病!?

遺跡の反応が見たくて
魔獣をけしかけたって
言うんだけど…

フフフ…

おや…どうやら
古代の防衛兵器が
動き出しました

ヒィィィ

ギィィィィィ

一体どうして…？

古代の防衛兵器…
そんなもの外に出すわけにはいかない！
キーン
キーン
見事な腕前です！
おかげで知識も得られました
フラフラ
なんとか未知の兵器を倒したんだけど…

まだ魔獣をけしかけた理由を聞いてないよ！
古代文明…ひいてはこの世界の研究をしているだけです
フラフラ
だけどあなたがドラゴンの力に目覚めたことによって…

世界は闇に巻き込まれつつある
祈っていますよ貴方が私の敵にならないことを…
おれと世界に何の関係が…!?
ガッ
なんだかすごく意味深なことを言い残して行っちゃったの…

そうして街へ戻ったユーディルは宣言したの！
おれたちはランザーヴを手放さない…
彼あっての新アルベリア王国だ！
ドドド

セントロータスとの
同盟のおかげで物資はバッチリ！

次は**火焔都市バルカヘイム**へ
行こうって話をしていたら…

殿下！
バルカヘイムで
大きな争いが…！

中でもイリア大聖堂は
謎の凶賊に襲われ
信者から救援依頼が！

あそこは兄弟の中で
一番強いレオニード兄さんが
統治する軍隊の町

どんな騒乱も
すぐに鎮圧できる
はずなのに…？

みんなが逃げ込んだのは
『紅蓮の廃道』…助けに行かなきゃ！

廃道は溶岩の雨がふる
ひどいところだったの!!

アツアツ～♪

以前は
坑道でしたが
今は誰も
近づかないとか

信者たちは
この先の
廃教会に…

案内感謝する

アツアツ!!!

突然現れたのはエルフィリスを
追いかけていた暗殺者…!?

お前は…
シャノン!?

そいつらは
神の教えを
踏みにじった逆徒だ

神を…教会を捨てた
お前も聖騎士ではない！

ドゴ

シャノン

バルカヘイムの教会を
襲ったのはこの人だったの！

おれは
イリア教会の執行者

ばっ

死ねエルフィリス！

同じ教会の仲間なのに
一体どうして!?

えーっ
魔神が女神イリアの子供～!?
ああ…そう記された『煉獄文書』のせいで教会は真っ二つに…
あんなものは偽物だ！だが教会には信じる者が多く…
その文書とバルカヘイムの騒乱は関係があるのかな？
うーん…
あの…
実は黒いモヤに包まれてさらに奥へと逃げた者が…
イヤな予感がしてきたわねぇ
本当にただの廃道なのかしら？
シャノンもそっちに行っちゃった…はやく追いかけないと！
シャノンを追いつめてやっと全員助けられると思ったら…
我が支配下に…
我が目的地に踏み入るとは亡んだ痴れ者がいたものよ
ものすごい殺気…！あれは…お兄さん!?
ゴオ
この地で騒乱などない行われているのは『粛清』だ
俺の意にそぐわぬ者のな
オオッ
第一位王子 レオニード
発展に犠牲はつきものだ
フハハハ
紅蓮の廃道もまた封印洞窟…
禁忌の力をこの手に！

レオニードは味方じゃなかった…
しかもシャノンに「教会を元に戻す」って
約束をしているみたいで…

ザッ
ザッ

安住の地を
取り戻すため
おれは…！

閣下を討たせは
しない……！

フン…あさましい
まとめて掃討してやる

ワーッ
ワーッ

来い！
我が契約竜マーズよ！

マーズはムムと同じくらいの火力を
持つ火竜…そのはずだったけど…

!?なにコイツ…
まさかドラゴンを
錬金術の実験台に!?

世界最強になりたいという
望みをかなえてやったのさ

新生ドラゴンの
炎を受けよ！

オオ

マーズ

レオニードは味方ごとわたしたちを
吹き飛ばして廃道の奥に行っちゃった…

シャノン
大丈夫か!?

！…貴様…

シャノンは助けられたお礼にって
昔のことを教えてくれたの

おれはエルフィリスに
救われイリア教会で育ち
愛を知った…

ヨロ…

帰る場所がないなら
死んだも同じ

閣下の元へ戻らねば…

シャノン！目を覚まして！
魔神の支配する世界に楽園はないよ…！

フフフ…
魔神の力が解放
されるまでもう少しだ！

ゴゴゴ

心で考えろ！
次の子らに残すべき
ものはなんだ!?

ゴゴゴ

うっうっ…
おれは…！

うあああああああっ!!

ナニッ!?

ムウッ!!
愚かな…
だがもう遅い

魔神の《ひとう》は
本体へ戻り力は解放される！

そう…魔神はゼシアの中で
少しずつ自分の体を取り戻していたの！

残された膨大なマナ…
俺の体なら取り込む
ことが出来る！

ズズズ

皇帝を上回る
絶対的な覇王の
誕生だ！

マーズの攻撃で今度こそ
燃やされそうになったんだけど

野心に負けて
傀儡となりはてた
哀れなマーズ

本物の契約を…
愛をみせてあげる！

ボッ!!

ムムが炎のマナを吸収して
逆に蹴散らしてくれたの！

すでに目的を果たしていた
レオニードは去っていって…

悲しみを知った
きみにしかできない
ことがきっとある

力を貸してくれ！

…ああ
ただ無心に
罪を償おう…

シャノンはお城に
来てもらうことに！

それってパーティーの招待状？

ハーイ♪

第三位王女
シェス

帝国のことどう思ってるか確かめるためにも行ってみよう！

絢爛都市シャンゼリアを治めているシェス姉さんからだ

うん

指定された場所には砂ばっかり…

ゼーハー

なんにもないじゃねーか！

そうだね
でも…
とてつもなく巨大なものが近づいてくるよ

ゴゴゴ…

ユーディル！迎えに来てあげましたわ！

ばぁぁぁ

ん？

浮上要塞
グラン・フィオラータ

シェスはお山みたいな船に乗って現れたの!!

すごい内装だこれが移動宮殿か！

帝国の侵攻が増しているこんな時にドレスなんて…

パーティーの余興はダンスだけじゃありませんわ

そう言われて外を見ると…

魔獣と戦ってる一団が!?

もう一人の特別ゲストのショーですわ！

シェスは一体何を考えてるんだろう…？

魔獣と戦っていたのは
なんとユーディルの恩師！

誘いこまれたか

この襲撃
シェス様が
画策を…!?

助けに行こう！

ファファ

ファファ

白薫騎士団・団長
リーフ

白薫騎士団・副長
バティア

いくらなんでも
悪ふざけがすぎるよ!!

私が王都を離れると
決意するのと同時に
あなたからの
招待状が来た…

ご自慢の『子猫』たちで
動向を探っておいで
だったのでしょう？

ファファ

シェスには情報を集めるための
裏技があるみたい…ヤな感じ!!

リーフは帝国に従うふりをしてゼシアを
助けられないか探っていたんだって！

手がかりは
『クラーベ・ロイエルン』
にあります！

…残念
ですけど

あの妹のことは
あまり興味
ございませんの

それって帝国のせいで苦しむ
みんなにも興味ないってこと…？

協力する利点が
ありませんもの

ピシッ!

民が求めるのは
苦しみから
救う王ですわ！

苦しみを分かち合うような
やり方では大陸中に
貧しい民を増やすだけです

そうですわ
わたくしの城に集まる
魔獣を退治すれば
協力してさしあげても
よろしくてよ？

くっ…!

ファファ

…民のための
戦いには意味がある

行こう！

シャンゼリアの人々よお聞きなさい！
街に迫る魔獣どもは私の愛する弟がすべて退治しましたわ！
アルベリア王家はあなた方を必ず守りますわ！
ママママ！
シェスさまばんざーい！
ウソは言ってないけど…都合よく使われちゃった～!?

約束を違えるようなことはいたしません
ただし協力関係は秘密情報と資源の提供だけこれが条件ですわ
ほっ
充分です！
よかったあ！でもこの人…本当に信用していいのかな？

あのお姫様の本音はシャンゼリアを支える力の源泉…
オールドマテリアルの採掘場を見れば わかるかもよ
妙なマナの気配もするし行くしかない！

あれ？採掘場に人がいないよ！かわりに怪しいのがいるー！
シンニュウシャ ハッケン
ゴゴゴゴ
これはまさか…魔動兵器!?
昔ディアネル帝国で使われた魂なき魔獣…気持ちのいいものじゃないね

見てしまいましたのね
あれはクラン・クリミナーレ
帝国に与する者をすべて八つ裂きにし土地を焦土に変える決戦兵器ですわ！

シエスはわたしたちが配下になるなら見逃してもいいって言うんだけど…

民に犠牲を強いるあなたに従うことなどできない！

あら!?

理想を振りかざすばかりでは統治などできませんわよ

やっておしまいなさい！

力を合わせて魔動兵器をボコボコにしてやったの！

許せませんわ！覚えてらっしゃい～!!

キィ～～!!

シエス様…もうお戯れはおやめくださいすべて演技なのでしょう？

えっ!?

あら…ふふ

ス…

あなた方が倒した魔動兵器…

あれはディアネル帝国が資源の採掘を邪魔するために配置した兵器ですわ

まさか…わざとけしかけて退治させたのー!?

頼みなんてしたら借りを作ることになりますから

フフン

ゾゾゾ…

僕臨されるのは好きじゃないんだよねえ…

ほらー！ユピテルも怒っちゃうよ！

報酬にオールドマテリアルの濃密なマナをお分けしますわ

え？本当に？

やったー！

それにあなたと弟は今から姉公認の間柄でしてよ！

うーん…結果オーライ…かな!?

魔神の秘密が眠る
クラーベ・ロイエルン

なんという瘴気…！

ここは最大の
封印遺跡

懐旧の…悔恨の地だ

ゼシアを助けるためには
頑張って進まなきゃ！

これは…石碑に
建国王アルベリウスの
名前が刻まれて…？

えっ
ユーディルが
光ってる!?

パァァ…

汝の竜の血と
石碑のマナが
共鳴している

光に包まれたと思ったら
何かが見えてきて…

ついに追いつめたぞ！
魔神モルトメサイア！

ゴォォォォ!!

モルトメサイア

アルベリウス

この地で貴様を
封印する！

石碑が見せたのはなんと
三百年前の光景だったの！

今のは!?

間違いありません
アルベリウス
陛下です！

ここはアルベリウスと
魔神の決戦の地だったのか

フフフ…
この地に眠りし
我が半身が
目覚めつつあると
いうことだ

ゼシア！

いや…真の名は…
魔神モルトメサイア…！

魔神はこの封印遺跡で
最後の半身を取り戻すっていうの…！

殿下の他の
ご兄弟にも
招待状を出して
おきました

仲良くご覧になると
よいでしょう！

そんなのダメだよ！
絶対止めるんだから!!

フフフ…！

進んでいるうちに
招待状を見たみんなと
合流しはじめて…

ぼったり

ゲ!!

…

石碑のおかげで三百年前に
何があったかもわかってきたの

我は異界より出でし
純粋なる力の集合体

肉体を討てたとして
魂を討つことはできぬ！

モルトメサイア…
それが貴様の真の姿か…！

ならば我が血の中に
眠れ魔神よ！

『血棺』の秘術！

!?聖剣を自らに!?

貴様は竜の加護を受けし
我が血脈に溶け込み
やがて消滅するだろう！

そんな…王家の血に
魔神の魂が眠ってるなんて！

…これで
終わりではない

魔神の肉体は
グラスティア各地に
飛び散っていて
穢れを呼んだのだ

ゴク…！

ええ～!?
しぶとすぎるよー！

飛び散った魔神の肉体を封じるため…
王は聖剣を砕き各地に奉護したのだ
あーっ
はっ
そうか…それが『聖片』…！
そして最後の肉体を探し再び『クラーベ・ロイエルン』へたどり着き……
貴様の血に溶け込んだ魂が半身を前に目覚めたのだ
ズズ…
くっ！これ以上どう抑え込めば…！
いやおれにはまだ体が…命が残っている！
ハハハ!!
ブルートー
王よ…我もともに
パァア
すまないブルートー！…今こそ契約の力を！
魔神をこの身に取り込み抑え込む!!
そうして…魔神と一緒に地の底へ落ちて行っちゃったの
世界に平和をもたらした立派な最期だ！
キッ
ククク…
あの姿を見ても同じことが言えるかな？
え!?あれはブルートーだわ！
ゴゴゴ…
ゴルル…
オオゥア…
まさか…建国王アルベリウス…!!
王さまは三百年ものあいだ魔神の侵食に耐えていたの…！

我が子孫よ
私を倒せ…

魔神の力に
私の体と心が
飲み込まれる前に…！

ヴ…ッヴァ!!

アルベリウス…
あなたの意志は
おれが受け継ぐ！

プルートーの…王さまの中の
魔神本体が暴れてる!?
戦いたくないよ…だけど!!

嫌です陛下あ!!

ボロボロになった王さまは
プルートーのマナを
ゾディアークに託して…

ありがとう…
ようやく解放される

クク…

ついに逝くか
アルベリウス

だが我の真なる体は
貴様ら程度の力では
傷つかない！

今こそ再誕の刻！

スリ

我は《すべて》を
取り戻した！

我に忠誠を誓う
機会を与える！

オオ

そんなの誰も誓うわけ
ないでしょ!!って思ったのに…

従うわけではない
共闘するだけよ

探究心を
満たせるのは
こちらの道
というだけ…

国を割る
わけには
いかない

他の兄弟はみーんな
魔神についちゃったの!!

フフ…

これより貴様と血をわけた
すべてのものが貴様の敵だ！

世界の未来は妹に…
この我に託すとよいぞ！